

平成25年11月7日

平成25年度 第二回 学校運営連絡協議会 議事録

1. 日時：平成25年11月7日 午後3時45分～午後5時30分
2. 場所：杉並総合高等学校 会議室
3. 出席者（敬称略）：

全国総合学科校長会	顧問	A氏
高井戸中学校	校長	B氏
教育新聞社		C氏
元永福高等学校	PTA会長	F氏
PTA	会長	H氏
PTA	副会長	I氏
前PTA	会長	G氏
学校出席者	校長	
	副校長	
	教務部主任	
	生活指導部副主任	
	進路相談部主任	
	総務部主任	
	1学年主任	
4. 議事
 - (1) 学校長挨拶（別掲）
 - (2) 教育活動報告
 1. 副校長報告
 - 1) 防災教育推進校については、2月3日～4日に笹塚の消防学校で1泊2日の訓練を行なう。この日は、3年生は授業がなく2年生は修学旅行中である。
 - 2) 理数教育チャレンジ団体については、科学の甲子園に生徒を5人出場させることになっていたが、出場生徒がいなかった。科学の甲子園に生徒を出せないのは本校だけという不本意な結果になっている。
 - 3) ICT活用推進事業については、学習コンテンツの応募では、各校で、各教科2作品、計18を応募すればよいことになっていたが本校は27作品を応募。推進校12校中一位であった。11月18日のITCフォーラムでは、本校情報科の高橋正憲教諭が20分間の模擬授業を行うほか、19日は本校生徒が国際交流受け入れ報告を英語で行なうことになっている。
 2. 教務部関係報告
(レジュメに沿って報告)

1. 姉妹校訪問

9月21日から29日までフォートストリート校の生徒22名と教員3名が来校した。授業は2日間しかなかったが、体育祭にも参加した。

テレビ電話で交流する件については、オーストラリア政府の許可が出ない上、ニューサウスウェールズ州の規制はもっと厳しいようで、個人レベルではできても学校間は難しそうである。

2. 平成25年度次世代リーダー育成道場について

本校からは2名の生徒が選出されており、来年度に留学する。

3. 留学団体の高校訪問

7月12日に10名の生徒が来校し、国際交流委員と交流した。

4. 交換留学生について

本年9月から来年6月までノルウェーの男子生徒16歳が留学してきており、2年次に編入されている。

尚、現在、タイから来ている留学生の後には、ブラジルから1名、留学生を受け入れる。

5. 今年度留学に行く生徒は3名、アメリカ、カナダ、メキシコに留学。

6. 中国教職員招聘プログラム

ユネスコの依頼で、11月20日に中国の教員25名が来校する。

7. 日韓中高生交流プログラムで2年女子生徒1名が12月25日から30日まで韓国を訪問する。

8. スピーチコンテスト

高等学校英語スピーチコンテストと全商杯商業高等学校スピーチコンテストに本校生徒が参加、全商杯で2位となった。

9. 選択科目の本調査については、生徒からの申請が出て現在整理中である。

10. 学力向上推進プランについては、1・2・3年生のすべてで実施している。分析結果と取組方針を添付したのでご覧下さい。

11. 平成26年度の年間行事計画は現在、企画調整会議等で調整中である。今後の学校行事についても資料をご覧下さい。

3 生活指導部関係報告

1. 今年度のPDCA

遅刻数の減少については、全体では前年比で減っているが、学年別では1年生が増えて2・3年生は減っている状況である。

学校非公式サイト等への不適切な投稿については、7月17日以降、投稿の報告はない。

2. 頭髪指導については継続して指導している。

3. 遅刻指導については、考査間の指導を年間5回行なっている。反省文を書かせ、

作文用紙に保護者欄を設けて家庭との連携を図ることにしている。

又、遅刻防止週間を生活指導週間として頭髪等の指導も行なっている。

4. 服装指導については、防寒着を校内で必要以上に着用しないよう指導する。
5. 化粧・装飾品については、従来はピアスを除いて指導しなかったが今後は派手にならないように指導していく。
6. 保健室の利用状況については、4月～10月の累計利用者数が677人と、前年比半減している。(前年1327人)。各学年とも減少しているが、特に3年生の減少が著しく、前年比3分の1である。又、怪我についても重篤の怪我は少なくなっている。
7. 本日(11月7日)はボランティアの日として、LHRでボランティアについて考えさせた後、学校内外の清掃を行なっている。
8. 12月10日に薬物乱用防止教室を実施する。講師に杉山裕太郎氏をお招きしている。

4. 進路相談部関係報告

1. 3年次生の進路状況

今年度は停滞の年で、進路結果が期待できそうにない年のようなのである。重点支援校の最終年度に結果が伸びないのは残念である。

指定校推薦で応募の決定した学校は資料をご覧ください。これは例年と変わらない状況ある。専門学校については、みな資格を取るしっかりした学校に進学する。大学については推薦が増加し18名である。(昨年は11名)。只、その前の5・6期生に比べると少ない。

就職については昨年から急に応募者が増加した。現在、内定3名、結果待ち1名。

1・2年生の状況は例年とあまり変わらない。約半分が大学進学希望である。

2. 10月までの各種取り組みについて

- ・ 新1年生を対象にした学習ガイダンスは本年度が2回目であるが、昨年から発展させることが出来た。只、フォローアップの設定が難しい。次年度の課題である。
- ・ 教員対象の学習会については、よい専門学校を担当に伝えるために今年度再開した。来年は1・2年担任にも参加してもらおう考えである。
- ・ 模擬試験の電子データの使用方法についての勉強会を1・2年担任対象に来年度から実施する。
- ・ 夏期講習の講座数・受講者数は、23年度に前年比で大幅に増加して以降、順調に伸びている。個別に見ると、2年生の受講が大きく減っているのが問題である。部活動等の中心となる年次であるが、ここからしっかり学習させないといけないと考えている。
- ・ 模擬試験の受験者数は前年比で6月は増えたが、10月、11月は減った。セン

ター試験出願者数も73名で減少している。

5. 総務部関係

1. 10月11日の10周年記念式典は無事に終了した。PTAのご協力、ありがとうございました。記念行事終了後のアンケートでは、86.8%が肯定的評価。
2. 11月30日に本校で、中学生向けの地区別合同学校説明会を開催する。19校が集まる予定で、新しい試みである。
3. 学校説明会の来場者数は10月までで述べ1145人、昨年比15%増である。

6. 第一学年

1. 海外修学旅行は費用の95000円を超えられないことから、行き先をシンガポールからマレーシアに変更した。今まで、シンガポールに行った学校は円高の時期に行っており、今の為替状況では行けない。
2. 選択科目については生徒からの提出が終わり、確認作業中である。3年次の6科目を今考えないといけないのが難しい。
3. ボランティアの日においては、ワークシートを配布して作業させている。奉仕の時間は6時間以上、校外に行かないといけないが、中学校の部活動等に行っている生徒が多い。高井戸東小で小学生の採点に行った生徒も多かった。まずは体験させて色々なことを知ってもらうことが重要と考えている。
4. 今年の1年生は今の時点で転退学者が出ていない状況である。普通は1学期に数人は出るものである。但し、休みがちな生徒、学校生活に意欲を失くしかけている生徒が2,3人出てきている。

7. 学校評価について 総務部主任

11月実施、12月回収、1月にまとめた上で2月の委員会で報告する。

質問項目については、経年変化を見るために変更していない。

回収目標は生徒・教職員100%、保護者60%、地域50%。

8. 質疑・意見交換

A氏：10月11日の記念式典はおめでとうございます。

学校評価は経年変化を見るということで、同じ内容でよいと思う。

各担当の先生方は、忙しい中、これだけの資料を取りまとめて戴いてことに敬意を表します。総合学科の教員は校務が多い。生徒は個性が強い。ご苦労も多いと思うが、国の将来を担う学校である。総合学科は何ゆえに主体的に学ぶことや成就感を重視するのか。それは「進路への自覚を深めさせる」ということにつきる。

よく総合学科は普通科、専門学科に次ぐ第3の学科と言われるが、私は「次ぐ」ではない、「並ぶ」だと言っている。

又、「創業は易く守成は難し」で、作るときは勢いがある、これを維持するのが難しい。杉総は10年が経って、ここがふんばりどころである。どうか、高等学校教育の先端を狙っていくことを目指して欲しい。

B氏：詳細な報告、ありがとうございました。一番注目したのは生活指導部の報告の何点かである。保健室の利用状況が前年比大幅減となっていることは、うちの中学校でも同じである。これは何を意味しているのか。私は、心と体の姿勢が安定している結果だと考えている。学校生活が充実してきている証拠である。心と体の姿勢が充実していると学校が落ち着くし、学力が向上する。

この他にもいろいろな取り組みをやっておられることがよくわかったし、その成果が出てきている。地域の中学校としては地元の高校に進学するのがよい。杉並総合を盛り立てたいと考えている。

F氏：部活動はいつまでやっているのか。桜上水で遅くまで生徒を見かけることがある。1年生でやめる生徒がまだいないとか、保健室の利用者数が少ないとか、落ち着いた学校生活を送れている証拠である。桜上水の住人としてもそのように見える。文化祭のときに上北沢から来たが、途中でポスターが一枚もなかった。又、上北門の掲示板も全くケアされていない。これは何とかすべきである。

C氏：学運協の委員になって4年目であるが、皆さん、これだけのことをここ数年やってこられて疲れていないかと思う。学校評価アンケートの回収目標は在籍数が分母である。必ず、不登校や当日来ない生徒がいるので100%というのは非現実的である。99%とすると学校のことがわかっているということになるし、教員に示すにも意味があるのではないか。

学校が楽しくて遅刻が増えることもある。遅刻はするけど必ず来るという場合もある。欠席・遅刻が増えるのが問題である。欠席者数の動向が知りたい。

怪我が2割増えているが、保健室の利用者数は半減している。精神的な相談をしにこなくなっている可能性もある。うつ病の生徒が減っているかどうかを見ないといけない。過去、不登校で毎日保健室にいた生徒がいなくなって、利用者数が減ったということはないか。3年の進路が停滞の年ということであったが、ごりごりやれば保健室に行くはずである。保健室の利用が多いクラスほど成績・進路実績がよいというケースもあるし、体育祭で優勝するクラスは怪我が多く利用するということがある。保健室の利用者数の減少はよい兆候と決められないのではないか。

G氏：記念式典で他の総合学科のPTAの方々覚えてくださっていたのは嬉しかった。杉並区立松溪中学校の保護者から杉総のよい評判を聞く。

H氏：記念式典については、卒業された方々からも褒められ嬉しかった。

学校評価についてはPTAからも呼びかけて回収率が60%を超えられるようにしたい。

I氏：今年の3年生はやる気が前に出て来ないタイプであると思う。皆でなかよくやっていこうという感じである。総合学科は自分で進路を決めている生徒にはすごくよい学校であるが、選びながら進むという生徒にとっては、3年は短いという感じがする。

以上